

「レトロ・モダン」へのこだわり……ローズガーデン甲子園



甲子園球場の近くに、特養 80 室、ケアハウス 20 室、デイサービス、クリニックを併設したローズガーデン甲子園が完成しました。上の写真は玄関側(南面)の外観です。2-4 階に連続した装飾壁やコーニス(軒蛇腹)等、今風のモダンな建物とは少し異なった趣のある建物です。建設地のある兵庫県西宮市にはW・M・ヴォーリス設計の重要文化財「神戸女学院」があり、法人の理事長はご自身の建築技術者の経歴と相まって、同建物をこよなく愛されて様式的意匠を少しでも取り入れたいとの思いのある建築です。東西南北各々の外壁面に取り付けられた装飾壁のタイルは、カラー、目地割り等同学院を訪れ、モックアップ模型による試行錯誤の上決定しました。コーニスや装飾レリーフは現在の材料と工法により造られていますが、時間・手間共当初の予想を大きく超えましたが、現場関係者の協力を得て、手作りで趣のある「レトロ・モダン」な建築になったと思います。



玄関ホール



地域交流ロビー



デイ浴室